

10月記者懇談会

令和2年10月26日(月)

午前11時 203会議室

出席者：みのわ新聞、長野日報、伊那ケーブルテレビ、信濃毎日新聞
事務局：毛利、山口、那須

町長月間予定 総務課

- ・月間行事予定の説明

町の主なトピックス(担当課PR分)

・みのわ町民文化祭について(町公民館)

毎年行っていますみのわ町民文化祭ですが、今年につきましては主に展示での開催となります。

10月29日(木)から11月3日(火)文化の日までをみのわ町民文化祭としまして、展示の広場を中心に行います。会場は地域交流センターみのわと、主に花の展示を文化センター学習室で行います。

今年は音楽の広場や芸能の広場も未実施ですが、例年行っています野点またマナビーランドについても、今回については未実施となります。

今回、音楽の広場、芸能の広場はありませんが、希望のあった5団体についてはステージ発表を録画し、伊那ケーブルテレビ様のご協力の下、もみじチャンネルで放送を予定しています。

(資料に基づき説明)

・安全安心パトロール隊の活動について(総務課 防災・セーフコミュニティ推進室)

昨年10月から活動を始めています安全安心パトロール隊ですが、ここで1年になります。

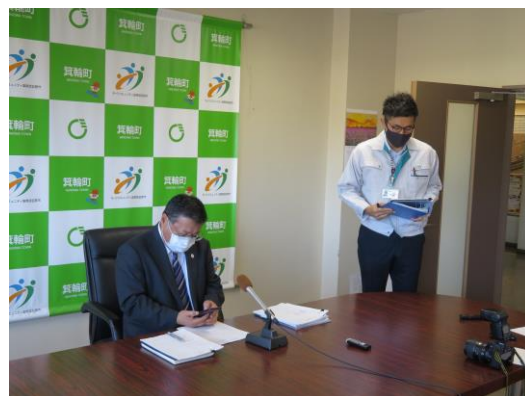
隊員の2人は、専用車で町内を巡回パトロールし、事件や事故が起こらない、また、起こさせない地域社会づくりを醸成させ、安全安心なまちづくりを推進することを目的に活動しています。

設立の経過は、全国で登下校中の子どもが犠牲になるような悲しい事件が相次いでおり、町内でも年に数件ですが不審者の情報や声掛け事案がありますので、ボランティアの見守り隊の皆様と連携しながら、子ども達の安全を守っていこうということから設立したものです。



隊員2人とも、今後も警察の経験を十分に活かしてもっと幅広くやってみたいと言っています。担当としても、これまで以上に幅を広げられないかという視点を常にもって、お力をお借りしながら活動を続けていきたいと思っています。

(資料に基づき説明)



記者) 町長の感想をお聞かせください。

町長) セーフコミュニティを進める上でということも勿論ありますが、大事にしていきたい一つは、事件とか事故を未然に防ぐ、起こさせない、そういうセーフコミュニティの本来の姿。それと行政ではなかなかできない防犯について、これは警察の業務なのですが、警察だけではできないというのがあり、そういった体制をパトロールを通じて実施をしたいというのが一番の念願でありました。

一年間振り返って見ていただきましたが、実は先般半日、パトロール車に乗せさせていただき、いろいろなところで気付きがありました。特に以前から感じているところですが、美化を一番損ねているのが行政の看板と安協の看板なのです。これは、注意を一番引こうと長くやってきた成果ではありますが、そういった看板の老朽化とか見すばらしい看板の取り換え作業をして、道路系はかなりきれいになった感じはしています。これは誰が見ても明らかだと思っています。

それと、道路のごみ拾い等もしていただいていますので、美観という部分と、もう一つは防犯。実は大型商業施設等の防犯は警察だけではできない部分があります。中まで入るといことはしません、駐車場とか付近とか、そういったところを今までやってきました。そういう意味では、当初の予定した成果は出たのではないかと思います。

行政でこういった取り組みを行っているところは県内ではないわけで、行政としてのこういった取り組みを、プロの目でやっていくという意味では一定の成果があったと思います。

まだ、課題はあると思っています。今のところ少年犯罪とかそういった犯罪も多くはありませんので、夜といったことは想定していませんが、状況に応じて活躍の場を広げてもらいたいと思っています。

・大正大学の地域実習について(企画振興課 まちづくり政策係)

箕輪町は豊島区と防災連携協定をはじめとする連携交流を進めています。その縁で平成28年に大正大学地域構想研究所広域自治体連携コンソーシアムに加入しました。そういった流れの中で一昨年度より、地域創生学部の学生を受け入れて地域実習を行ってきましたが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み受け入れての地域実習は行わず、オンラインでの地域実習を進めています。

今年度の地域実習につきましては、3年生が様々なジャンルをテーマにした箕輪町の研究、2年生がクラウドファンディングを活用したオンラインマルシェ開催により、箕輪町の特産品の販売を行っています。

3年生の実習期間は9月28日～11月6日、男性6人と女性が2人が参加しています。

最終報告会は、11月18日（水）14時から16時に産業支援センターでオンラインでの開催を予定しています。

コロナ禍でありますので、大々的に多くの方を集めてというよりは、今回の研究にご協力いただいた関係者を中心に報告会を予定しています。

2年生は、赤そば応援を中心としたクラウドファンディングを行います。今年は新型コロナウイルス感染症の影響により赤そばの栽培と赤そば花まつりが開催されないため、例年とは違った形で赤そばの魅力を伝える、恩返しという意味でのマルシェの開催になります。

開催期間につきましては、10月23日（金）にオンラインサイトをオープンしています。

受注期間としましては、1か月後の11月24日（火）までとなります。

当町を含めた大正大学の地域実習受入先の15の地域と合同でオンラインマルシェを開催しています。SNS等でも展開していますのでご確認ください。

（資料に基づき説明）

町長コメント

資料を出していませんが、一つは以前から申し上げている少子化に関わる部分です。国の10月1日の少子化見込み数が84万人台と出たようですが、去年の86万人が84万人台に落ちるのではないかと。新型コロナウイルスの影響なのかわかりませんが、そういった状況が発表されました。私も以前から当町における人口減少の一つ、自然減の中で、少子化が非常に進んでいることに危機感を感じてい



ると申し上げてきました。令和2年度の出生数見込みが、子ども未来課の数字で156人と出ました。これは今までの妊娠届とか、そういったものから推計した数値のようです。勿論これからどこかへ出て行ってしまうとか流産とか考えられますので、これよりも減るということもありますし、転入があれば増えるということありますが、今のところ1月1日で156人を想定しています。昨年185人ですので約30人弱15%減ということになります。これは国の数字を超えて減少に転じているとということであり危機感を持っています。死亡者数については約280人～290人のペースですので、自然減だけで130人位はあると思っていて、これに社会転出、例年ですと転入の方が多いという状況をここ4、5年作ってきましたが、とてもそういうわけにはいきません。外国人の転出も含めてかなりの転出が考えられますので、人口減が相当おきるのではないかと心配しています。来年度の予

算に向けて少子化対策をどうするかというのが一つのキーになっていまして、庁内で検討させていますが、一つは結婚、いろいろな数字、データが今も出ているわけですが、何れの段階でお示しなければと思っています。婚姻率とか離婚率とか出生率とか第何子まで生まれているとか、そういった数字をすべて出してこの問題をどうするかということを考えますと、婚姻から出生、子育てまでのところをより充実するということが一点。それともう一つは、少子化に関わることだけではないのですが、町の魅力度というものをもっと少し発信していかないと、住宅を造るということを含めた転入がなかなか進まないということがあって、その辺のところを総合的にしなければいけない時期にきている、今までもやってきたわけですが足りない部分があるのではないかと考えているところです。具体的には予算の中で示したり、全体としては予算編成方針の中でその点について職員に改めてお願いをしていく予定です。

次に施設の関係ですが、一つは上古田区にある町の西部診療所であります。昭和40年に開院して平成19年に全面改築をしました。上古田区の公民館から県道を挟んである建物ですが、そこにふれあいサロンをされている者と同居をしているといいますが、併設しているわけですが、そこに西部診療所があります。松島区にあります福島医院の福島先生が現在週1回行っていただいている診療所があるわけですが、それについて本年度をもって廃止をしたいと思います。廃止の理由は、現在のところ患者さんが一日平均2人程度という状況で、定期的に通われている方も血压とかそういったもので、お薬をもらいに行くというような部分が非常に多くなっていて、診療の内容もそのようなものに限定されているということもありますので、人数も少なくなったことから、この際廃止をしたいと思います。各区または患者さんそれぞれ、定期的には8人ほど、単発で4人ほどと言われていますが、全ての方にお話をし、状況について説明をしているところです。今後については患者さんの動向等を見ながら、支援が必要であれば考えていきたいと思っております。長い歴史のある診療所でありまして、これに伴って町内にある診療所は、東部診療所また北部診療所があったわけですが、全て診療所がなくなるということになります。民間の診療所があまりない時代に、国保等の診療所ということでそれぞれ建設したものだと思っておりますが、車社会の中でそういった方向にもっていきたいと思っております。現在、ふれあいサロンでも使っていますし学童クラブでも使っていますので、その辺の利用方法につきましては改めて今後検討していきたいと思っております。

もう一つ公共施設の関係で、南小河内区にありますおごち保育園の跡地であります。統合する前の旧おごち保育園であります。先般まで解体作業をしまして跡地は更地になっています。この跡地について、行政として建物を建てるということはないということを決まらせていただいて、今後の利用方法について公募をしていきたいと思っております。基本的には、公共的な性格をもつものを建設してほしいと思っておりますが、最終的には住宅建設も含めて、民間の力を借りてそれを売却もしくはものによっては賃貸ということもあるかもしれませんが、基本的には売却の方向で考えていきたいと思っております。これについても関係の区にも相談させていただきながら、そのような方向で進めていきたいと思

ます。公共施設は、まだいくつか実施しなければならないことがあります。公共施設の管理計画を立てていますので、その中で明らかにしていきたいと思っています。

もう一つ、報道等でもしていただいています外国人住民のための様々な取り組みであります。取組みそのものにいろいろ言うつもりはありませんが、町として出来る限り外国人のための施策を進めていきたいと思っています。今般も就職支援に関わる講座をさせていただいて仕事のための日本語だとか、就活を実践するためのコースを作って実施させていただきました。これは、非常に気になる部分の一つありまして、外国人のためにそういった支援をしていくことは行政として必要だと思っています。今まで日本語講座もそうですが、交流をするためであったり、場合によってはもっと高度な通訳をするためであったり、そういったことの講座はしてきましたが、生活そのもの、特に就活といいますが仕事を求めている日本語講座というものは、行政としてはあまりやってきませんでした。町として実施していくことはいいのですが、外国人は箕輪町だけに住んでいるわけではありませんので、基本的にはもう少し広い範囲で実施をしていくべき、実施してもらいたいと思っています。町に住んでいる皆さんに支援することは全くやぶさかではないですが、実は相談もそうなのですが、県のまいさぼ上伊那だとか、そういったところで通訳もなく相談を受けていて、本当の相談が出来ているのかという気がします。通訳を置いているところだけにそれを求めても、全体としての外国人のためになっているのかというのが、非常に気になるところでして、この問題は外国語講座も含めて、県がもう少し音頭を取ってやるべきだと思っています。新型コロナウイルスの関係でたまたま浮上した問題ではありますが、やっていることは認めないわけではありませんが、出先を含めてもう少しやらなければいけないと。町もここでまた通訳などそういったことを補充したり、町の関係団体、例えば社会福祉協議会だとか、そういったところにも少し支援をしないと本当の相談とかいうことが出来なくなっていくのではないかと。ちょっと長丁場にこの問題はなりそうなので、そんな感じがしています。報道の皆様をお願いしたいのは、これは当町だけの問題ではないということでもあります。どこまで市町村行政がやるものかどうかというところが課題だと思います。これは外国人、日本人を問わずなのですが、特に言語という問題があるということと、生活というところと働くというところを、今まで働くというところを行政として問題視してきていなかった部分があるので考えていかなければと思っています。必要なことは県にも申し上げていきたいと思っています。

それと最後に個人的なことになりますが、11月をもって2期目の2年分が終わります。11月末の定例記者懇談会の中で2年目の総括と、当初に公約してありますマニフェストになっているものについての成果というか結果についてお示ししていきたいと思っていますので次回お出ししたいと思います。

記者) 外国籍住民のところですが、今年度の全5回の講座で終了という方向なのか、来年度も継続しての検討なのか、如何ですか。

町長) 今回やってみないとわからないということもあります。あと介護系の問題も出

てくると思いますので、何より、外国人の皆さんの就労の確保が出来るかという問題ですので、新型コロナウイルス感染症がある程度収束して、製造業の生産現場に人手不足というのがもう一回出てこれば、それぞれコンタクトを取っていた皆さんも動き始めますので、だいぶ製造業の現場によっては必要だとされてきているところもありますので、そういったところにもう一度入っていくという方もいらっしゃると思います。ただ今回ですすがに定職といいますかあまり有期でないという仕事を求める外国人もいるようですので、そういった方への応援というのは、一回やったからといって出来るわけではありませんので、来年度の予算の中では、今回の状況を見ながら、必要であれば続けていきたいと思っています。また、続けなければ本当の仕事の確保は出来ないと思いますので、そのようなつもりでいます。

やめるというつもりは今のところはありません。1、2年は続けなければと思っています。

記者) 町独自でどうにかできるわけではない、そうだなと思います。町長の全体でやっていくというイメージ、県が音頭をとってどこかの日本語教室に対して、日本語教室をやろうとしている住民に対してバックアップということなのか、どのようなイメージでの支援の在り方が必要と考えているか。

町長) 今まで結局、外国人との交流を進めていく中だけでは言語の壁があるので、そういった意味で日本語の教室が必要だというのが非常に多く、その人が仕事を求めるために日本語を身につけようというレベルで日本語教室をやってきたという例はあまりありません。もちろん子ども達の学習前提のためにというのはあったと思いますが、そういう意味だと日本語教室の在り方そのものを考えてもらいたいと思います。上伊那は結局、製造業をやっていくには人手不足を補っていく意味では外国の方も必要なので、その皆さんに対する支援というものを町単独でやってくるのも如何なものかという部分もあります。やらないというわけではないですが、そういう意味では県そのものなのか県の関係団体なのか、そういったまとまりを作っていく必要があるというように思います。その前提としては、当町で行っている今の事業が、支援をした皆さんにとって有益であって、新しい職場が見つかったとか、仕事に就けたとか、そういう成果を出していく必要があると思いますので、がんばってやっていきたいと思っています。そのつもりで担当官達もやっています。

記者) 上伊那とか広い範囲で見て、外国人の方々が拠りどころとして箕輪町に集まってきているというのはありますか。

町長) そういう面もあるかもしれませんが。相談体制を敷いているという意味では。

記者) ただそれは箕輪町だけが受け皿にあるという問題ではなくて、全体でやる必要があるのではということですね。

町長) 私は嫌だということを行っているつもりはないのです。そうではなくて、その

人達にとっては、働く場所、生活の場所は箕輪町だけではないので、そこは皆でやらないと、箕輪町だけが特別なことをやっているように見られるのは好きではないので、そのような必要はないので、この問題においては。

記者) 少子化の課題についてお話いただきましたが、11月6日に未来委員会がありますが、そういったところでも議論をしていただくような要請はあるのでしょうか。

町長) そうですね。実は未来委員会は、評価と昨年度の評価にあわせて今後の第五次振興計画の後期計画、来年度から始まるわけですが、それを作るという予定で考えていましたが、その前提になる作業が進みません。地元へ行って地域の皆さんとお話したり、関係団体の皆さんとワークショップをするという作業が新型コロナウイルス感染症の状況で出来ませんので、少し遅らせるつもりでいます。振興計画の策定を本年度中ではなく、来年度も掛けて来年度以降のものを作るということに切り替えていますので、今までの未来委員会とは違ってきますが、とにかく現状について、委員の皆様にお話をして、行政としてやるべきことは何だろうということは提言していただきたいと思っています。それについては全部になるかわかりませんが、提案をさせていただきたいと思っています。

記者) 11月6日は、今の広く町の様子を説明してということか。

町長) そこまで出来るかどうかわかりませんが、そういう方向では考えています。

記者) 西部診療所の建物の話ですが、ふれあいサロンと学童クラブは引き続きあの建物で行うということですか。それとも、それも含めた検討を今後されるということですか。

町長) ふれあいサロンについては引き続き行います。学童クラブもふれあいサロンと同じ場所で行っていますので、建物全体の活用方法を現在検討しているところです。

定例記者懇談会次第

令和2年10月26日（月） 午前11時00分
箕輪町役場 203会議室

1 開会

2 町長月間予定

3 町の主なトピックス

- ・みのわ町民文化祭について（町公民館）

- ・安全安心パトロール隊の活動について（総務課 防災・セーフコミュニティ推進室）

- ・大正大学の地域実習について（企画振興課 まちづくり政策係）

4 町長コメント

5 質疑

次回開催日程 11月25日（水）午前11時00分 203会議室

箕輪町長 当面の予定

		内 容	場 所	備 考
11月1日	日			
11月2日	月			
11月3日	火	9:00 町功労者表彰式		
11月4日	水	9:00 広域連合打合せ	町長室	
		10:00 予算編成方針説明会	講堂	
		13:30 伊那養護学校PTA懇談会		
		16:00 文化芸術大会出場激励	町長応接室	北小河内 小嶋紗奈さん (幼児)ピアノ
11月5日	木	9:30 固定資産評価委員会	202	
		13:30 連絡事務嘱託員長会	大会議室	
11月6日	金	13:30 みのわ未来委員会	大会議室	
		16:30 PTA連合要望	町文化センター	2階 研修室1・2
11月7日	土			
11月8日	日			
11月9日	月	14:30 伊那中央行政組合理事者会	いなっせ3階	
		15:30 上伊那広域連合正副連合長会		
11月10日	火			
11月11日	水	13:00 財政打合せ	町長室	
11月12日	木	15:00 豊島区オンラインミーティング		豊島区長
11月13日	金	14:00 子育て支援ネットワーク代表者会議	講堂	
11月14日	土			
11月15日	日			
11月16日	月			
11月17日	火	9:00 庁議	講堂	
		13:15 定期監査報告	町長応接室	
11月18日	水	9:00 町議会運営委員会	301	
		14:00 大正大学地域実習最終報告会	産業支援センター	
		18:00 クリーンセンター八乙女環境対策委員会	五輪館	
11月19日	木	11:15 全国治水砂防促進大会	砂防会館	
11月20日	金			
11月21日	土	13:30 松本山雅ホームタウンデー	アルウィン	
11月22日	日			
11月23日	月			
11月24日	火			
11月25日	水	11:00 定例記者懇談会	203	
		15:30 地域交通検討会議	大会議室	
11月26日	木			
11月27日	金	14:00 浜松市庄内地区村櫛小学校修学旅行来訪		
		18:30 (来賓なし)連合上伊那地協定期総会	伊那プリンス	メッセージのみ
11月28日	土			
11月29日	日			
11月30日	月	9:00 (予)町議会12月定例会開会	議場	
		14:00 広域連合議会定例会	伊那市役所	

令和2年11月行事予定表

日付	曜日	時間	内容	場所	担当課	問い合わせ先
1日	日					
2日	月	19:00～20:30	町ヨガ教室 ②	文化センター	文化スポーツ課	70-6601
3日	火		(65)第45回みのわ町民文化祭(10/29～11/3) 展示のみ。ステージ発表は未実施。	交流センター	公民館	79-2178
4日	水					
5日	木	13:30～	連絡事務嘱託員長会	役場	総務課	内106
6日	金					
7日	土	9:00～11:00	第5回 みそ部(収穫作業)	上古田圃場	産業振興課	内165
8日	日	9:00～12:00	消防団 火災予防パレード	町内	総務課	内102
9日	月					
10日	火	10:00～12:00	女性の起業セミナー②	産業支援センター	企画振興課	内233
11日	水					
12日	木	10:00～10:50	再就職応援セミナー 第1回 時間の整理講座	オンライン	企画振興課	内233
13日	金	10:00～10:50	再就職応援セミナー 第1回 時間の整理講座	オンライン	企画振興課	内233
		10:10～11:30	ふれ愛あそび	文化センター	子ども未来課	71-1560
14日	土	10:00～12:00	りんご収穫祭	選果場～各園	産業振興課	内165
		13:00～15:00	松本山雅FCサッカー教室inみのわ ① (対象:小5.6年生)	ながたドーム	文化スポーツ課	70-6601
15日	日					
16日	月					
17日	火					
18日	水	PM	みのわ健康アカデミー 集団健康講座(生活習慣病)	交流センター	健康づくり支援係	内130
19日	木	10:00～10:50	再就職応援セミナー 第2回 時間の整理講座	オンライン	企画振興課	内233
		10:00～10:40	親子ヨガ	文化センター	子ども未来課	71-1560
		19:00～20:00	木下保育園建設事業 木下北城地区住民説明会	木下南保育園	子ども未来課	内124
20日	金	10:00～10:50	再就職応援セミナー 第2回 時間の整理講座	オンライン	企画振興課	内233
21日	土	13:30～15:10	信州学出前講座in箕輪	博物館	博物館	79-4860
		9:30～16:00	伊那谷みらいスクール2020(～11/22)	産業支援センター	企画振興課	内233
		11:00～14:00	松本山雅ホームタウンデー 箕輪町PRブース出展	松本市 アルウィン	企画振興課・商工観光推進室・文化スポーツ課	
22日	日	13:00～15:10	人権講演会(蓮池薫氏)	文化センターホール	文化スポーツ課	70-6602
		9:00～17:00	伊那谷みらいスクール2020(～11/22)	産業支援センター	企画振興課	内233
23日	月					
24日	火	10:00～12:00	女性の起業セミナー③	産業支援センター	企画振興課	内233
		19:00～20:00	木下保育園建設事業 住民説明会①	木下公民館	子ども未来課	内124
25日	水	9:00～11:25	鶴亀講座	交流センター	国保医療係	内136
26日	木	14:00～14:30	ふれ愛あそび	子育て支援センター「いろはほけっと」	子ども未来課	71-1560
		19:00～20:00	木下保育園建設事業 住民説明会②	木下公民館	子ども未来課	内124
27日	金	15:30～16:30 18:00～19:00	木下保育園建設事業 木下北保育園保護者説明会	木下北保育園	子ども未来課	内124
		14:00～15:00	浜松市庄内地区村櫛小学校修学旅行隊 来町	郷土博物館	企画振興課	内235
28日	土	13:00～15:00	松本山雅FCサッカー教室inみのわ ② (対象:小1.2年、小5.6年生)	ながたドーム	文化スポーツ課	70-6601
29日	日	10:00～15:00	おいでよ夢まちフェスタ	文化センター交流センター	企画振興課	内233
30日	月	15:30～16:30 18:00～19:00	木下保育園建設事業 木下南保育園保護者説明会	木下南保育園	子ども未来課	内124

2020

みのわ町民文化祭開催要綱

- 1 名 称 2020 みのわ町民文化祭 (展示の広場)
- 2 期 間 令和2年10月29日(木)から11月3日(火・文化の日)
- 3 開 幕 式 新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施をしません。
- 4 主 催 箕輪町公民館

5 文化祭実施内容について

5-1 「展示の広場」

- ① 会 場 地域交流センター(主会場)・文化センター
- ② 会場準備 10月26日(月) 午前9時から
- ③ 作品搬入・受付・飾り付け 交流センター・文化センター
10月28日(水) 午前9時00分～午後7時00分
 - 「いけ花」: 別途参照
 - グループ作品: グループの代表が中心になって展示する。
 - 個人作品: 文化スポーツ課職員及び文化部員が中心となって展示する。
 - 保育園・学校作品: 文化スポーツ課職員及び文化部員が10月27日(火)に展示(保育園、学校関係は10月23日(金)に文化センターに作品搬入)
- ④ 一般公開 10月29日(木)から11月3日(火・文化の日)まで
 - 午前9時00分～午後6時00分
 - 11月3日: 午前9時00分～午後1時00分、
- ⑤ 作品搬出 11月3日(火・文化の日) 午後1時00分～3時00分(予定)
- ⑥ 会場片付 11月3日(火・文化の日) 午後1時00分から(予定)
- ⑦ 玄関開閉時間 午前9時00分・午後6時00分とする。
- ⑧ 作品内容等
 - (ア) 一般の部(含む高校生)
 - 日本画、洋画、版画、俳画、俳句、書道、短歌、写真、彫刻、陶芸、工芸及び手芸品、盆栽、盆石、生花、和裁、洋裁、文芸作品その他
 - (イ) 保育園・小中学校の部
 - 図画、版画、習字、工作、技術家庭作品など保育園児の作品小中学生の作品
 - (ウ) 参加申込み
 - 別途通知にて参加希望団体については受付済
 - (エ) 作品申込み

- 個人 出品申込書に記入の上、文化センター内 町公民館に申込み。
申込書は、町公民館に常時配備しFAXでも受け付ける。
- グループ 作品一覧表を公民館に提出する。
出品するグループには、公民館から代表者に作品申込書を送付する。
(FAX 79-6368)
- 保育園・小中学校 公民館よりお願いし、グループと同じ一括申込みとする。
- 展示にかかる出品申込締め切りは、令和2年10月5日(月)までとする。

⑩ 出品内容と出品点数

- 作品については、1人1点とする。
- 絵画 (50号以内)、書道 (半切以上仮及び本表装)、写真 (4つ切以上全紙まで)
- 小中学校は1学級あたり、書、絵等各4点でお願いするが、書・絵以外の作品でもよい。

⑪ 住民周知の方法

- 分館、小中学校、高校、保育園への文書等による周知
- ポスター、チラシ、文字放送、音声告知放送、新聞による周知
- グループ・サークル等文化団体への文書等による周知
- 公民館主催の各学級への呼びかけ

⑫ 作品の審査等

作品の審査は行わない。但し、小学校と明るい選挙推進協議会出品者には賞状を贈る。また中学生、高校生、保育園児に記念品を贈る。

⑬ 出品にあたっての注意

作品の裏面等に必ず住所、氏名を記入するほか、後日配布する出品用の名札に各自で必ず記入のうえ持参すること。

⑭ 作品受付 公民館事務局及び文化部

5-2 「音楽の広場」「芸能の広場」 未実施

※希望団体については、ステージ発表の録画撮影を行いケーブルテレビにて放映予定

5-3 「野点コーナー」 未実施

5-4 「マナビイランド」 未実施

6 広報・PR

- 文化祭の開催については9月末に開催チラシを全戸配布する予定。
- 文化祭前及び期間中は音声告知放送や文字放送でPRするとともに、みのわ新聞等に掲載してもらう。

2020 みのわ町民文化祭

今年度は、展示のみの開催です

10/29 **木** ~ 11/3 **火・祝**

- 会場**
- 展示の広場 / 地域交流センターみのわ
 - 花の展示 / 箕輪町文化センター学習室

開催時間 9:00~18:00

※11/3のみ 13:00 終了



新型コロナウイルス感染予防のため、入場の際は検温・マスクの着用
・手指の消毒・少人数での来館にご協力をお願いします。

お問い合わせ先: 箕輪町公民館 TEL: 79-2178

■ 駐車場の台数に限りがございます。

箕輪町公民館では、今年度の『2020みのわ町民文化祭』につきまして、感染症予防の観点から実施のあり方を検討してまいりました。その結果、箕輪町が大事にしてきた「町民手作りの文化祭」を引き継ぎつつ、みのわの芸術文化の灯をともし続けたいとの願いを込めて、「展示の広場」を中心として開催することといたしました。

公民館としましても、会場の設営や感染症の予防に関してできる限りの対応を考慮して準備をしておりますが、ご来場の皆さんにも、マスクの着用や消毒の励行など、ご協力いただきますようお願い申し上げます。なお、感染症は予断を許さない状況であることをふまえ、文化祭の開催に関しても急きょ中止せざるを得ない場合もありますので併せてご承知おきください。

感染症予防についてのお願い

1 【健康状態について留意してお出かけください】

来場前に、ご自身やご家族の体調を確認していただき、以下のような点で心配がある場合はご来場をお控えください。

- 体温のチェック（平熱と違い、さらに体温が上がりそうな時）
- 体調の変化（息苦しさ、強いだるさ、高熱、味覚障害等）
- 感染拡大地域への往来があった方については、移動時期や体調にご注意いただき、来場については慎重にご判断ください。

2 【地域交流センターみのわ・箕輪町文化センター入場時に受付、および 体温チェックをお願いいたします】

入場していただく際には、感染症予防、拡大防止のために、受付の設置及び体温のチェックをさせていただきます。高温の場合は会場への入場をお控えいただくなどご協力をお願いいたします。

- 受付では万一来場者（代表者）の氏名、連絡先、入場時間等を用紙にご記入いただきます。

3 【感染予防のためのマナーにご協力ください】

- マスクの着用をお願いします。（咳エチケットの励行）
- 会場内に設置される消毒液による手指の消毒の励行にご協力ください。
- いわゆる3密を避けるための入場者の人数制限や人と人の間隔をあけるソーシャルディスタンスにご協力ください。



2020 みのわ町民文化祭 展示の広場 参加団体一覧

- 伝統文化いけばな教室
- 箕輪町華道会
- フラワーアレンジメント ドルチェ
- 箕輪陶芸研究会
- 陶芸クラブ うつわの会
- 陶芸クラブ 楽しく
- みのわ俳句会
- 竜西俳句会
- 箕輪町短歌教室
- さんさん会
- 書萌会
- 着付教室 桐花の会
- ききょう手芸クラブ
- ちぎり絵サークル 和



- 手芸の会
- やまとなでしこ
- グレイスフル箕輪
- 箕輪町社会福祉協議会 いきいき塾
- いきいき塾 西部
- ディサービスセンター ゆとり荘
- 障がい者就労支援センター ふれんどわーく
- ケアセンター ふれあいの里
- もみじの会
- 町内各小中学校
- 町内各保育園
- 町公民館成人学級・大学
- 町公民館各種講座



順不同

安全安心パトロール隊の活動について

1 目的

安全安心パトロールが地域を巡回パトロールすることにより、事件や事故が起こらない、また、起こさせない地域社会づくりを醸成させ、安全安心なまちづくりを推進する。

2 基本スケジュール

9:00～ 係内ミーティング、活動日誌作成

9:30～12:00 町内パトロール

13:00～15:00 町内パトロール

15:00～17:00 下校時の交通安全指導、見守り

17:00～17:30 日誌作成等

※突発的事案の発生時や事業開催時は変更あり

3 活動内容

- ・車載スピーカーを使った防犯、交通安全啓発のための広報活動
- ・事故発生箇所、スピード超過の多い箇所等における駐留監視活動
- ・学校周辺及び通学路における児童生徒への声かけ、見守り活動の推進
- ・道路におけるカーブミラー、道路標識等の点検と視認性確保、道路及び看板等の簡易補修
- ・不法投棄の回収、野焼きに対する火災防止啓発
- ・要保護者の発見、誘導
- ・警察、各区、地区SC協議会との協働による安全安心活動

4 活動の成果（主なもの）

(1) 突発事案への対応

- ・R2.5月 南小河内区における行方不明者捜索
→当該人物を発見
- ・R2.5月 長岡区における不審者情報への対応
→周辺調査から不審者を特定し、警察へ情報提供
- ・R2.6月 木下北保育園における不審者情報への対応
→同時間帯のパトロールを行い、当該人物を特定し、危険性の無い事案として解決
- ・R2.7月 福与区（ふるさと農道）において強風でビニールハウスが飛散した事案への対応
→回収し、事故を未然防止
- ・R2.7月 7/8 豪雨の避難情報発令時の対応
→該当地域で広報を実施。天候回復後、河川周辺や急傾斜地のパトロールを実施
- ・R2.7月 全盲の女性が町道6号線を歩行している事案への対応
→声かけと誘導を行い、事故を未然防止
- ・R2.8月 福与区内における不審車両情報への対応
→周辺調査により、危険性のない車両であることを確認

(2) 防犯講演会、安全教室の実施

- ・南小河内区、松島区、木下区において区民向け防犯講演会を実施
- ・町安協と連携し、町内小学校の下校時に交通安全教室を実施

(3) その他

- ・駅前輪場の警戒中、盗難自転車を発見し、警察を通して被害者に還付
- ・道路上の障害物（ゴミ、石、枝等）を撤去し、事故を未然防止
- ・事故発生箇所やスピード超過の多い箇所において駐留監視を実施し、事故を未然防止
- ・カーブミラー等の不備や道路損壊箇所を発見し、担当課に修繕依頼
- ・夏季に大型商業施設やパチンコ店の駐車場をパトロールしたり、田畑で作業している高齢者へ声かけを行ったりして熱中症事故を未然防止
- ・年金支給日に金融機関をパトロールし、特殊詐欺を未然防止

5 月ごとの特徴的活動及び突発事案への対応

◆令和元年10月

- ・沢上における不審者情報への対応
- ・長岡南部における声かけ事案への対応
- ・天竜公園における声かけ事案への対応
- ・木下上町における不審者情報への対応

◆令和元年11月

- ・南小河内区において防犯講習会の実施
- ・松島区における声かけ事案への対応
- ・松島区におけるつきまとい事案への対応
- ・松島区において防犯講習会の実施

◆令和元年12月

- ・木下区において防犯講習会の実施
- ・沢区における声かけ事案への対応

◆令和2年1月

- ・松島区における突発事案への対応
- ・町内の地下道の安全性点検

◆令和2年2月

- ・郡内における賽銭盗の増加を受け、神社等の警戒を実施
- ・不具合のあるカーブミラーの緊急点検

◆令和2年3月

- ・西部地区における侵入盗、さい銭盗事案への対応
- ・新型コロナウイルス感染症による休校中の子どもの見守り
- ・沢区における火災発生時の対応
- ・大出区における交通事故現場での対応

◆令和2年4月

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により立入禁止となったキャンプ場等の警戒
- ・転居に伴うものと思われる不法投棄の回収及び住民環境課への通報
- ・長岡区における交通事故現場での対応

◆令和2年5月

- ・富田区における交通事故現場での交通誘導
- ・南小河内区における行方不明者の捜索
- ・長岡南部における不審者情報への対応

◆令和2年6月

- ・長岡区 SC 協議会と協働で区内集会所等に防犯灯を設置
- ・大出区における不審者情報への対応
- ・木下北保育園周辺の不審者情報への対応
- ・東小学校区における放し飼いの犬に対する対応

◆令和2年7月

- ・福与区内において農業用ハウスが強風で飛ばされた事案への対応
- ・西小学校区内における不審者情報への対応
- ・7/8の避難情報発令時における避難広報および河川周辺等における土砂流出状況確認
- ・沢区における行方不明者の捜索
- ・上古田区における熊出没警戒

◆令和2年8月

- ・熱中症警戒アラート発表時における対応
- ・上古田区における熊出没警戒
- ・福与区内における不審車両情報への対応

◆令和2年9月

- ・天童公園における不審者情報への対応
- ・安協と連携し、町内小学校の全生徒へ下校時の交通安全指導を実施

〈参考〉活動の記録

(1) パトロール日数、時間 239日 約1,550時間

(町内パトロール、事故多発箇所等での駐留警戒、少量の不法投棄物回収、下校時の見守り等を随時実施)

(2) 交通安全

- ・道路標識等の補修、不備報告 54件 ⇒警察及び担当課に連絡し、修繕対応。
(道路標識、道路標示、カーブミラー等)
- ・看板等の修繕 237件 ⇒補修、更新、撤去、周辺草刈り等を実施。
(看板、のぼり旗、道路横断旗等)
- ・人波作戦への参加 6回

(3) 道路保全

- ・道路損壊の発見、報告 16件 ⇒担当課に連絡し、修繕対応。
- ・道路上の障害物撤去 95件 ⇒除去、清掃を実施。
(石、土砂、樹木等)

(4) 突発事案

- ・不審者等への対応 13件 ⇒警察と連携し、パトロール等を実施。
(声かけ、不審者、不審車両等)
- ・火災等への対応 11件 ⇒現場へ急行し、交通誘導等を実施。
(火災、事故、車両故障等)
- ・行方不明者への対応 2件 ⇒地元区、消防団等と連携し搜索を実施。

(5) 教室、講習等 10回

(小学校での交通安全教室、各区での防犯講習)

(6) その他

- ・特殊詐欺等の警戒 47回
(町内金融機関やATM等において、年金支給日を中心に注意喚起)
- ・水難事故予防指導 15回
(天竜川等で釣り人へ注意喚起)
- ・高齢者等の誘導 34回
(座り込んでいる高齢者への声掛け・誘導、車道を歩行している方への注意喚起)
- ・熱中症警戒アラート発令時の対応 2回
(音声を流しながら住宅街をパトロールし、適切な冷房使用等呼びかけ)
- ・地区SC及び各区との協働 6回
(防犯パトロール、人波作戦、交通安全看板の設置等)

令和2年度大正大学地域創生学部地域実習の概要

1. 今回の地域実習について

町は、豊島区と防災連携協定をはじめとする連携交流を進めており、その縁で平成28年に大正大学地域構想研究所広域自治体連携コンソーシアムに加入しました。一昨年度より、地域創生学部の学生を受け入れて地域実習を行っていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、今年度は、受け入れを行わずオンラインでの地域実習を行っているところです。

今年度の地域実習は、3年生が様々なジャンルをテーマとした箕輪町の研究、2年生がクラウドファンディングを活用したオンラインマルシェにより箕輪町の特産品の販売を行います。

2. 箕輪町のメリット

- ①実習を通して、大学生の知識や発想、行動力を地域の活性化に活かせます
- ②実習を通して、都市部の大学生に箕輪町へ愛着を持ってもらうことで、関係人口が増加します
- ③実習を通して、箕輪町の特産品を多くの人に知ってもらう機会が創出されます。

3. 実習概要

3年生

○学生一人一人が独自のテーマで実習計画を作成し、教員の指導の下、実習地の自治体・協力団体の協力を得ながら研究活動を進めていきます。

実習期間：2020年9月28日(月)～2020年11月6日(金)

参加学生：3年生8人(男性6人/女性2人)

実習テーマ：別紙参照

担当教員：大正大学地域創生学部地域創生学科 講師：高柳直弥氏

最終報告会：11月18日(水) 14時～16時 産業支援センター2階 研修室

※オンラインでの報告会になります。研究へご協力いただいた関係者の皆様向けに予定しております。

2年生

○赤そば応援を中心としたクラウドファンディングを行います。今年は新型コロナウイルスの影響により赤そばの栽培と赤そば祭りが開催されないため、例年とは違った形で赤そばの魅力を伝えていきます。

開催期間：2020年10月23日(金) オンラインサイトオープン

受注期間：2020年11月24日(火)まで ※受注数50袋を超えたらSOLDOUT

発送予定：2020年12月上旬～2021年1月下旬予定

実施方法：クラウドファンディングサイト「Ready for」を使用

販売価格：1セット5,000円

セット内容：赤そばの乾麺3袋、八割そば2袋、そば粉、小麦粉、打ち粉500g、そば打ち体験(オンラインチケット)、りんごジュース2本、

その他：当町含めた大正大学の地域実習受入先の15の地域と合同でのオンラインマルシェとなります。

氏名： 田中 司	実習テーマ： 箕輪町における関係人口に関する調査(ファンクラブでの関係人口創出の可能性)
<p>実習計画の概要（背景や目的）</p> <p>一昨年に箕輪町で実習をさせていただいた際に観光に興味を持ちました。その後大学で地域に関しての勉強を進めていくと関係人口という言葉に出会い、「観光客と関係人口は何が違うのか？」という疑問を抱いたため今回の実習のテーマを関係人口としました。また、関係人口が増えることで地域に活気が生まれたり、新たに魅力に気づくことができるのではないかと考えたことも背景の 1 つです。</p> <p>今回の実習では、「関係人口に関する文献や先行研究の調査などを行うことで自身の関係人口の定義を考える」「Facebook ページの調査・ファンクラブ会員の皆さんへのアンケート調査を通して箕輪町における関係人口像を導き出す」といったような調査活動と、最終的にはご提供いただいた又は集めたデータを整理したものでのフィードバックやファンクラブの企画提案などを出来る活動にしていけたらと考えています。</p> <p>【実施予定の調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係人口に関する文献、先行研究調査 ・ みのわファンクラブ会員の方々へのアンケート調査 ・ 箕輪町の Facebook ページの興味関心調査 	

氏名： 横溝 朝陽	実習テーマ： 箕輪町の自転車利用状況とその理由についての調査—箕輪町で自転車の使用率が上昇した際の得られる効果について考察する—
<p>実習計画の概要（背景や目的）</p> <p>最近、上伊那地域でサイクルツーリズムの盛り上がりを感じます。辰野町ではサイクルステーションの整備やイベントの開催、長野県全体をコースにした Japan Alps Cycling Road の開発といった情報を見かけます。</p> <p>その中で上伊那地域に属する箕輪町でもサイクリング、サイクルツーリズムの可能性があるのでないかと 1 年生の地域実習を通して感じています。アップダウンに富んだ道路や、見通しの良い道、景色の良さや赤そばの里などの観光地。私自身、箕輪町でサイクリングをしてみたいと強く思います。</p> <p>しかし、1 年生の実習では自転車を見かけることが少なく、車社会であると感じました。そこで、今回の地域実習では、箕輪町の方々の自転車利用状況とその理由について調査をし、調査結果を活かし、サイクリングで箕輪町が盛り上がり、やがて上伊那地域での交流、地域の活性化に繋がるきっかけになればと思っています。</p> <p>【実施予定の調査】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自転車の利用状況(週、月の利用頻度) ②利用目的 ③利用しない理由 ④何があれば利用するのか(例：安全な道路、電動自転車など…) ⑤箕輪町など上伊那地域でサイクリングをしたことがあるか ⑥サイクリングに関心があるか、してみたいと思うか 	

氏名： 牧田 拓夢	実習テーマ： 箕輪町での自転車観光を実現するための調査
<p>実習計画の概要（背景や目的）</p> <p>一昨年、地域実習で箕輪町を訪れた際、箕輪町内での主な移動手段として自転車を利用しました。ときどき自動車での移動もありました。その時箕輪の風景（山並み、田園風景など）や空気を楽しんでもらう、感じるには自動車より、自転車の方が適しているように感じました。</p> <p>そこで観光客に箕輪町の良さを知ってもらうためには、自転車を利用してもらうことが良いのではないかと考えました。その結果箕輪町の魅力が町外に伝えることができればと思っています。</p> <p>そのための調査として私自身が感じたような風景や空気の良さが、私自身だけでなく他の人にとっても価値あるものと証明することが必要になると考えています。また自転車観光を実現するための方法や、観光客を呼び込むための方法もヒアリングなどを行い考える必要があると考えています。</p> <p>【実施予定の調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町民、町外の箕輪町に関わった方へのアンケート ・ 土岐さんへのヒアリング ・ のんびりサイクリング実行委員会へのヒアリング 	

氏名： 倉 萌華	実習テーマ： 体験型食農教育の地域活性化における可能性について
<p>実習計画の概要（背景や目的）</p> <p>私は以前からフードロスなどの“食“に関することに興味がありました。生きていくために最も重要な“食“について改めて考えたり、生産現場を体験することで食材や生産者に対して感謝の気持ちをもっていただくことが出来ると考えています。この考えを多くの人にも共感してもらえる活動をするために、今回は食育の中でも特に自然の恩恵や生産者への感謝等へつながる内容に注目し、箕輪町で重要な活動の1つになり得ると考えられる『みそ部』の活動を中心に、町内で行われている食農教育を調査することで、効果測定や関係人口の増加に繋げられる糸口について考えていければと考えております。</p> <p>【実施予定の調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食育や食農教育に関する文献調査 ・ みそ部や家庭菜園部の参加者を対象にしたアンケートとヒアリング調査 ・ 土岐さんやその他関係者へのヒアリング調査 	

氏名： 鈴木 湧太	実習テーマ： 地域の伝統芸能の活性化(次世代の担い手・観客の創出)
<p>実習計画の概要（背景や目的）</p> <p>どうすれば地方の伝統芸能の活性化（次世代の担い手・観客の創出）は実現できるのかという卒業研究のテーマを念頭に、今回の実習では、どうすれば箕輪町に残る伝統芸能である古田人形芝居の活性化（次世代の担い手・観客の創出）は実現できるのかについて調査し、その内容をふまえた具体的な方策を提示したいと考えています。具体的には、2年前の実習で提案した「実演や鑑賞方法に関してスポーツ（具体的にはアーティスティックスイミングやフィギュアスケート）の手法を取り入れること」について検証していきたいと考えています。</p> <p>【実施予定の調査】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①既存の採点方法についての調査 ②小中学校の古田人形部へヒアリング ③一般の方の協力のもと動画を見てもらい採点対象や採点方法についてのデータを収集 ④実際に自分で採点対象や採点方法を見つけ出す ⑤ルール作成後、ルールを一般の方や実習班の人に説明して鑑賞してもらい、反応や効果のデータ収集 ⑥ルール改善（修正）を繰り返す ⑦保存会の方へ報告、提出 	

氏名： 柿澤 颯杜	実習テーマ： 「音」を用いた町の企業紹介
<p>実習計画の概要（背景や目的）</p> <p>本実習の背景として、2年次の東京実習においてサウンドスケープに関する研究をしていたことが挙げられます。サウンドスケープとは、目に見えるランドスケープ（景観）に対し、ある地域固有の音や創造された音によって演出される音の環境などのことです。このサウンドスケープと箕輪町の中小企業の活動音をマッチングさせて「音」という観点から企業紹介に取り組みたいと考えました。</p> <p>【実施予定の調査】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 箕輪町商工会向けの説明資料作成 2. 箕輪町商工会への協力依頼 3. 協力してくださる企業への調査説明 4. 録音、事業内容に関するヒアリング調査 5. 企業紹介動画の作成 6. 予備調査を経て研究発表 	

氏名： 平原 佳奈	実習テーマ： 名刺を使った地域プロモーション
<p>実習計画の概要（背景や目的）</p> <p>名刺は、その人の情報を簡潔に伝えるための手段であると共に、デザインによっては、その人が働く地域や企業についてもアピールできる機会をつくるものだと思っています。今回の実習では、観光協会が提供しているデザインの名刺等、現在の町の役場の方が使用されている名刺の地域プロモーションにおける効果（町の良さをシンプルに表している、見た人が関心を寄せるなど）の実態を調査したいと考えています、また、従来とは異なるデザインニーズについても調査し、それをもとにした新しいデザイン案を提案したいと考えています。</p> <p>【実施予定の調査】</p> <p>第一段階</p> <ul style="list-style-type: none"> ①既存の名刺に関する地域プロモーション効果についての調査 ②既存の名刺に関する印象等の調査 ③他の自治体職員の名刺デザインの調査 ④新しい名刺に求められる要素等の調査 <p>第二段階</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤完成したデザイン案に対する反応等の調査 <p>第三段階</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑥調査結果、デザイン案をまとめて提出し、総評をいただく。 	

氏名： 山下貴大	実習テーマ： 中央道利用者をターゲットとした箕輪町観光 PR 動画 作成動画の有効的な掲載場所の調査
<p>実習計画の概要（背景や目的）</p> <p>地域 PR 動画の事例として、珍しいもの・意外性のあるものは人の目を引きやすく、メディアの取り上げで知名度が年々上昇している赤そばや、一面紅葉で覆われるもみじ湖は箕輪を知ってもらうきっかけになると思います。今回の実習で箕輪は宿泊施設が多くないということから、本来の目的地の途中で寄ってもらえる観光地として PR 動画の作成を検討しています。</p> <p>動画内容は、なるべく若い観光客の誘致をしたいと考えており、ターゲットとして中央道を利用する若い観光客と考えています。現在自分の把握している箕輪町観光協会発信の動画は、美しい自然の風景、イベント事を発信し、地域の特徴が理解できます。箕輪へのアクセスのしやすさを加えた観光動画を発信すれば訪問者数が増えると思います。若者の旅行に対する情報収集手段も調べ有効的な動画掲載方法も調べたいと思っています。</p> <p>【実施予定の調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 若者の観光旅行先調査 動画に組み込む情報の聞き込み 必要に応じて観光地の撮影 	

＼ 大学生が15地域に *Buy* 返し! /



オンラインマルシェ
ウェブ de 応援
- with C -

学生がお世話になった15地域の
商品を皆様にお届けします。
私たちが選んだ各地域の魅力や味覚をお楽しみください!

クラウドファンディング
READYFORで開催



ぜひ見てね!
※購入するためには
会員登録が必要です。

10.23 (金) — 11.24 (火)



大正大学
×
15地域

宮城県南三陸町・宮城県栗原市・山形県最上町・山形県長井市・新潟県
佐渡市・新潟県越後地域(柏崎市・十日町市・南魚沼市)・静岡県藤枝市・
長野県小布施町・長野県箕輪町・岐阜県中津川市・兵庫県淡路市・島根
県益田市・徳島県阿南市・宮崎県延岡市・鹿児島県奄美市

【主催】
大正大学
地域創生学部

【問合せ】tokyoweb2020@odai.tais.ac.jp

 大正大学
スガモで育む日本の未来。

長野県箕輪町応援プロジェクト

MINO ONE TEAM

大正大学地域創生学部 箕輪町班



オンラインマルシェ ウェブde応援 ~withC~

READYFORで開催！
10.23(金)~11.24(火)

※購入するためには会員登録が必要です。



クラウドファンディングで
お世話になった箕輪町に
恩返しを！！

SNSで情報発信中！
「箕輪町地域物産」で検索



主催：大正大学地域創生学部 問い合わせ：tokyoweb2020@odai.tais.ac.jp